

Md Riasat, 入江一元: Gli1 陽性歯根膜細胞は幹細胞特性を有し, 歯槽骨再生に寄与する. 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2019 年 10 月 13 日, プログラムおよび講演抄録集 61 回: 123 頁, 2019.

- 54) 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 飯田明彦, 高木律男: 兄姉が口蓋裂で弟妹が非口蓋裂のきょうだいにみられた異常構音の改善経過. 第 64 回日本音声言語医学会総会・学術講演会, さいたま市(埼玉会館), 2019 年 10 月 17-18 日, 同プログラム・予稿集, 89 頁, 2019.
- 55) 山崎恭子, 中島貴子, 宮沢春菜, 伊藤晴江, 佐藤圭祐, 原 実生, 竹内麻衣, 高橋直紀, 森田英利, 須田 互, 服部正平, 山崎和久. 歯周炎患者唾液細菌叢が腸内細菌叢にあたえる影響の解析. 第 62 回秋季日本歯周病学会学術大会, 小倉, 2019 年 10 月 25 日. 日歯周誌 61 巻 秋季特別号 141 ページ.
- 56) 野中由香莉, 原 実生, 竹内麻衣, 松岸 葵, 山崎和久, 多部田康一 *Prophyromonas gingivalis* によって誘導される脂質代謝異常は TRPV1 チャネルの活性化により制御される. 日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会(第 151 回), 福岡, 2019 年 11 月 7 日.
- 57) 松岸 葵, 野中 由香莉, 竹内 麻衣, 原 実生, 土門 久哲, 山崎 和久, 多部田 康一. コメ由来ペプチド AmyI-1-18 およびアミノ酸置換体は *Porphyromonas gingivalis* バイオフィルム形成を阻害する. 日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会(第 151 回), 福岡, 2019 年 11 月 7 日.
- 58) 枝並直樹, 白柏麻里, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 遠間愛子, 竹内亮祐, 野杵由一郎: なぜ Regenerative endodontic procedures は多様な治癒形態を生じさせるのか-ラット根未完成臼歯における免疫組織学的研究-. 日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会(第 151 回), 福岡市, 2019 年 11 月 8 日, プログラムおよび講演抄録集 151 回: 54 頁, 2019.
- 59) 遠間愛子, 大倉直人, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 枝並直樹, 白柏麻里, 竹内亮祐, 野杵由一郎: 尿病モデルラットを用いた修復象牙質形成時におけるマクロファージの挙動と細胞増殖の解析. 日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会(第 151 回), 福岡市, 2019 年 11 月 8 日, プログラムおよび講演抄録集第 151 回: 109 頁, 2019.

- 60) 田村 光, 前川 知樹, 土門 久哲, 日吉 巧, 米澤 大輔, 前田 健康, 多部田 康一, 寺尾 豊: 米由来ペプチドによる炎症制御機構の検索と歯周病治療への応用研究, 令和元年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2019 年 11 月 9 日, 新潟歯学会雑誌 49 巻 2 号 Page82, 2019.
- 61) 花谷早希子, 小野和宏: 歯科衛生士の作業姿勢と筋骨格系健康障害の関連について. 令和元年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市(新潟大学歯学部), 2019 年 11 月 19 日, 新潟歯学会雑誌 49(2): 41 頁, 2019.
- 62) Shakehin Nazmus, 細矢明宏, 建部廣明, 溝口利英, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 中村浩彰, Hasan Md Riasat, 入江一元: Differentiation ability of Gli1-positive mesenchymal cells in the periodontal ligament. 第 125 回日本解剖学会総会, 宇部市, 2020 年 3 月 25-27 日

#### 【研究会発表】

- 1) 山崎和久: 口腸連関に基づく Periodontal Medicine 病因論 第 1 回口腸連関研究会キックオフシンポジウム. 東京, 2019 年 12 月 7 日.

#### 【受賞】

- 1) 山崎和久: 令和元年度日本歯科医学会会長賞, 2020 年 2 月 17 日.

### 歯科臨床教育学／歯科総合診療部

#### 【論文】

- 1) 原さやか, 佐藤拓実, 中村太, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 研修歯科医と指導歯科医の歯科治療時の力のコントロールに関する研究. 日本歯科医学教育学会雑誌 35(1): 3-10 頁, 2019.
- 2) 阿部朋子, 奥村暢旦, 石崎裕子, 伊藤晴江, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 形成量を可視化して歯冠修復を行った前歯部反対咬合の 1 例. 日本総合歯科学会雑誌 11(1): 80-85 頁, 2019.
- 3) 山中秀敏, 伊藤晴江, 石崎裕子, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 咬頭嵌合位が安定しない症例に対する咬合分析の試み. 日本総合歯科学会雑誌 11(1): 86-90 頁, 2019.

#### 【研究費獲得】

- 1) 藤井規孝, 奥村暢旦: 経験による学修過程の可視化と共有—プロフェッショナルへの近道. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19k03053, 2019.
- 2) 伊藤晴江, 藤井規孝: 歯科治療に有効なポジショニング習得のための効果的動画ツールの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10441, 2019.
- 3) 長谷川真奈: アロマセラピーによるストレス誘発性咬筋痛改善の脳神経メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 18K17164, 2018.
- 4) 浅野佐和子, 伊藤晴江, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 全顎的治療により咬合平面の乱れの修正を試みた症例. 第 12 回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019 年 11 月 2 日.
- 5) 金岡沙季, 伊藤晴江, 石崎裕子, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 上下顎に著しい顎堤吸収を伴う無歯顎患者に対して上下新義歯を製作した症例. 第 12 回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019 年 11 月 2 日.

#### 【シンポジウム】

- 1) 藤井規孝: 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験について. 第 38 回日本歯科医学教育学会・学術大会, 福岡, 2019 年 7 月 20 日.
- 2) 小海由佳, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 口腔機能低下症患者に対する治療計画立案の経験. 第 12 回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019 年 11 月 2 日.

#### 【学会発表】

- 1) Hasegawa M, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Modulatory Effects of Psychophysical Stress on Neural Activities in the Rostral Ventromedial Medulla Evoked by Noxious Craniofacial Stimulation in Rats. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. Bali, February 10, 2020.
- 2) Okumura N, Fujii N, Sato T, Nakamura F, Hara S, Hayashi T, Watanabe R: The Motion Analysis of Cavity Preparation. The 2019 IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition, Vancouver, June 21, 2019.
- 3) Hara S, Fujii N, Sato T, Nakamura F, Okumura N, Hayashi T, Watanabe R: The motion analysis of impression taking using optical motion capture system VICON - Consideration of impression taking technique difference by clinical experience. The 2019 IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition, Vancouver, June 21, 2019.
- 4) Hasegawa M, Kurose M, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Modulatory effects of repeated psychophysical stress on nociceptive neural activities in the rostral ventromedial medulla (RVM) evoked by noxious stimulation to the craniofacial tissue in the rats. 第 97 回日本生理学会大会, 別府, 2020 年 3 月 17 日.
- 5) 石崎裕子, 福島正義: 生理的咬耗による節煙・咬合面の象牙質露出に関する調査. 日本歯科保存学会 2019 年度秋季学術大会 (第 151 回), 福岡, 2019 年 11 月 7-8 日.
- 6) 原さやか, 佐藤拓実, 中村太, 野村みずき, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 歯科治療時の力のコントロールの個人差についての検討. 第 12 回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019 年 11 月 2 日.
- 7) 浅野佐和子, 伊藤晴江, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 全顎的治療により咬合平面の乱れの修正を試みた症例. 第 12 回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019 年 11 月 2 日.
- 8) 金岡沙季, 伊藤晴江, 石崎裕子, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 上下顎に著しい顎堤吸収を伴う無歯顎患者に対して上下新義歯を製作した症例. 第 12 回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019 年 11 月 2 日.
- 9) 小海由佳, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 口腔機能低下症患者に対する治療計画立案の経験. 第 12 回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019 年 11 月 2 日.
- 10) 三羽敏之, 長谷川真奈, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 臼歯部咬合支持の喪失を伴う重度歯周炎患者に対する補綴治療計画の立案. 第 12 回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019 年 11 月 2 日.
- 11) 岩間基, 奥村暢旦, 石崎裕子, 伊藤晴江, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 臼歯部に限局した多数歯う蝕の原因を考察した一例. 第 12 回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019 年 11 月 2 日.
- 12) 安部ちはる, 長谷川真奈, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 咬合高径低下に対し治療用義歯を用いて咬合挙上量を検討した症例. 第 12 回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019 年 11 月 2 日.
- 13) 黒瀬雅之, 長谷川真奈, 佐藤義英, 藤井規孝, 山村健介, 岡本圭一郎: 反復的な強制水泳ストレスが誘発する吻側延髄腹側部ニューロンの応答特性の変調. 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 東京, 2019 年 10 月 9 日, Journal of Oral Biosciences Supplement, 2019 巻: 322 頁, 2019.
- 14) 黒瀬雅之, 長谷川真奈, 岡本圭一郎, 山村健介, 佐藤大祐: 筋電図波形から官能評価を検出する試み. 日本咀嚼学会第 30 回記念学術大会, 東京, 2019 年 10 月 5 日, 日本咀嚼学会雑誌 29 巻 2 号 114 頁, 2019.
- 15) 野村みずき, 佐藤拓実, 中村太, 原さやか, 石崎裕子, 奥村暢旦, 伊藤晴江, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 歯科治療時の力のコントロール訓練装置の教育効果—第 1 報—. 第 38 回日本歯科医学教育学会・学術大会, 福岡, 2019 年 7 月 20 日.
- 16) 佐藤拓実, 中村太, 原さやか, 野村みずき, 石崎裕子, 奥村暢旦, 伊藤晴江, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 歯科治療時の力のコントロール訓練装置の教

育効果—第2報—。第38回日本歯科医学教育学会・学術大会, 福岡, 2019年7月20日。

- 17) 高島大輔, 高橋士穂, 佐伯万騎男, 藤井規孝, 魚島勝美, 前田健康, 小野和宏: 本学における「歯学研究演習」を履修して。第38回日本歯科医学教育学会・学術大会, 福岡, 2019年7月20日。
- 18) 長谷川真奈, 藤井規孝, 黒瀬雅之, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 中村太, 佐藤拓実, 原さやか, 野村みずき, 佐藤大祐: 機械学習を応用した 歯科臨床技能評価システム開発の提案。第38回日本歯科医学教育学会・学術大会, 福岡, 2019年7月20日。
- 19) 奥村暢旦, 荒井良明, 塩見晶, 長谷川真奈, 中村太, 佐藤拓実, 藤井規孝: 骨軟骨腫による下顎頭切除術後に生じた片側開口に対して補綴治療で機能回復した症例。第128回日本補綴歯科学会・学術大会, 札幌, 2019年5月11日。

#### 【研究会発表】

- 1) 長谷川真奈, 黒瀬雅之, 岡本圭一郎, 藤井規孝, 山村健介: 顎顔面部への侵害刺激による吻側延髄腹内側部 (RVM) の興奮性は繰り返しストレスによって変化する。第13回三叉神経領域の感覚-運動統合研究会, 軽井沢, 2019年11月30日。

#### 【受賞】

- 1) 原さやか, 佐藤拓実, 中村太, 野村みずき, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 歯科治療時の力のコントロールの個人差についての検討。優秀課題口演賞受賞。第12回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019年11月2日。
- 2) 金岡沙季, 伊藤晴江, 石崎裕子, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 上下顎に著しい顎堤吸収を伴う無歯顎患者に対して上下新義歯を製作した症例。最優秀若手ポスター賞受賞。第12回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019年11月2日。
- 3) 小海由佳, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 口腔機能低下症患者に対する治療計画立案の経験。優秀若手ポスター賞受賞。第12回日本総合歯科学会・学術大会, 札幌, 2019年11月2日。
- 4) T. Sato, N. Fujii, T. Hayashi, Y. Tateno, N. Okumura, F. Nakamura, S. Hara: The Motion Analysis of Cavity Preparation. The 2018 IADR/PER General Session & Exhibition, July 28, 2018. 第11回国際学会研究発表奨励賞受賞第38回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 福岡, 2019年7月19日。

#### インプラント治療部

##### 【書籍】

- 1) 小林正治: 顎変形症の診断と治療の流れ。口腔外科のレベルアップ&ヒント(片倉 朗 編), 106-111頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2019。
- 2) Katagiri W, Takeuchi R, Endo S, Kobayashi T. Switching between M1 and M2 macrophage phenotypes by the conditioned media of bone marrow derived mesenchymal stem cells promotes bone regeneration. OralScience in Japan 2019, 17-20, Jananese stomatological society, 2019.

##### 【論文】

- 1) Rashid M, Akiba Y, Eguchi K, Akiba N, Kaku M, Nagasawa M, Uoshima K: Valproic Acid contribute to Bone Cavity Healing in Rats. Dentistry Journal. Apr. 9;(3):539-546. 2019
- 2) Suliman M, Nagasawa M, Omari F, Hamaya K, Uoshima K: Effect of Collagen Cross-Link Deficiency on Incorporation of Grafted Bone. Dentistry Journal May; 7 (2), 45. 2019
- 3) Terajima M, Taga Y, Cabral WA, Liu Y, Nagasawa M, Sumida N, Kayashima Y, Chandrasekaran P, Han L, Maeda N, Perdivara I, Hattori S, Marini JC, Yamauchi M: Cyclophilin B control of lysine post-translational modifications of skin type I collagen. PLoS Genet. Jun 7;15(6):e1008196. 2019.
- 4) Rocabado JMR, Kaku M, Nozaki K, Ida T, Kitami M, Aoyagi Y, Uoshima K. Response to Letter to the Editor: Concerns on modeling postmenopausal osteoporosis in young female rats. J Orthop Surg Res. Dec 18;14(1):451. 2019
- 5) Masui Y, Ito A, Akiba Y, Uoshima K, Abe R: Dental metal allergy is not the main cause of palmoplantar pustulosis. Journal of The European Academy of Dermatology and Venereology. 33 (4):e180-e181. 2019
- 6) Shiozawa M, Takeuchi H, Akiba Y, Eguchi K, Akiba N, Aoyagi Y, Nagasawa M, Kuwae H, Izumi K, Uoshima K, Mizuno J: Biological reaction control using topography regulation of nanostructured titanium. Scientific Reports. 10 (1): 2438. 2020
- 7) Takeuchi R, Katagiri W, Endo S, Kobayashi T: Exosomes from conditioned media of bone marrow-derived mesenchymal stem cells promote bone regeneration by enhancing angiogenesis. PLoS One 14(11): e0225472. doi: 10.1371/journal.pone.0225472. eCollection 2019.